



フィリピンから②

マニラ日本人学校（境港市立第二中学校所属） 花田憲二

マニラ日本人学校

マニラ日本人学校は、小学部と中学部があります。私が赴任した2020年は、児童生徒数は激減する真ただ中で、全体の



数割が先生の子どもという時期もありましたが、ここ最近、児童生徒数は上昇傾向にあり、現在では308名です。しかし、コロナ前の450名には及びません。

それでも、ずいぶとにぎやかになりました。今も、私の目の前では、中学部2年生が一年の振り返り作品をつくろうと、1つのスライドを共有して作業をしています。この1年を懐かしみ、あちこちで笑いが起きています。5時間目というと、少しでもつまらない授業をすると生徒は眠たくなるのですが、眠たそうにしている生徒は誰もいません・・・。

マニラ日本人学校の児童生徒は、他の日本人学校と同様かも知れませんが、親の転勤で日本や他の国からフィリピンへ来た人、ずっとフィリピンに住んでいる人がいます。また、日本以外のルーツをもつ児童生徒もたくさんおり、英語の方が日本語よりも上手な生徒も多くいます。生徒にもよりますが、フィリピンの現地語であるタガログ語や中国語など、その他の言語を話す児童生徒もいます。

マニラ日本人学校で働いている先生は、多くが日本から派遣されてきた人で、北海道から沖縄まで色々な地域から来ています。また、現地採用といって、何年も働いている先生もいます。先生の他には、看護師さんが2人います。保健室の先生ではなく看護師さんです。2人ともフィリピンの方で、児童生徒は保健室へ行ったら、英語やタガログ語で具合の悪いところを説明しなくてははいけません。他にも、掃除をしてくださる方々、庭やグラウンドの手入れをして下さる方々、警備の方々がおられ、すべてフィリピン人です。

先日、道路をはさんで向かいにある British School Manila の8年生の生徒と交流を行いました。私はその学校の先生は皆英国の方とと思っていたのですが、話した先生は何とスイス人でした。国際色が豊かです。マニラ日本人学校の特色は、小学部1年生から英会話の授業があり、一年中毎週水泳の授業があります。その他、日本語が苦手な児童のための日本語学級の時間があります。校内には、バナナやポメロ、マンゴーなど、たくさんの果実を見ることができます。まさに、南国感漂う学校です。と思いきや、先日、マニラ日本人会が主催して、盆踊り大会が盛大に行われ、数千人の日本人や関係者が訪れました。最後になりましたが、日本と同じように、9教科10科目の授業が日本語で行われています。